



# ハンディMLSS計 簡易取扱説明書

◆測定開始前に必ずゼロ校正をしてください。(1日1回で可)

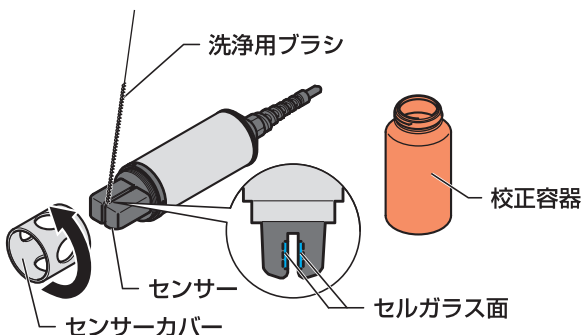
## 1. ゼロ校正

1. センサーカバー、センサー、セルガラス面、校正容器を洗浄します。

セルガラス面は洗浄用ブラシを使用して洗浄してください。

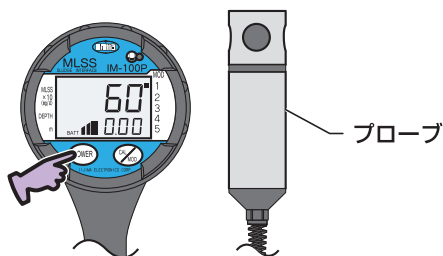


セルガラス面は水滴が残らないように拭き取ってください。



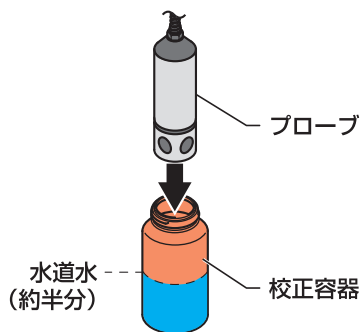
2. プロブを大気中に出した状態で電源をONにします。

(POWER キーを押してください)



3. 水道水を校正容器に約半分入れます。

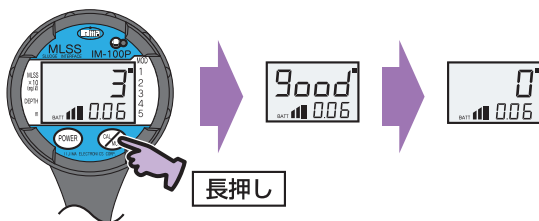
4. プロブを校正容器の底までゆっくり入れます。



5. 数値が安定したら  キーを1秒以上長押しします。

『Good』表示が出たら数値が0mg/Lになります。ゼロ校正は完了です。

『Err4』表示が出たらセルガラス面の水滴を拭き取り、2.からやりなおしてください。



# (IM-100P/80P/50P)



この取扱説明書は簡易版として作成してあります。

操作の詳細、注意事項については製品付属の「取扱説明書」に従ってください。

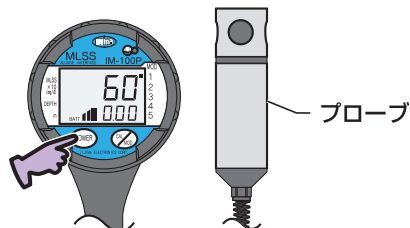
## 2. 測定方法

1. プローブを大気中に出した状態で電源をONにします。

(POWER キーを押してください)

2. 必要に応じてモード選択をしてください。

(「モード選択」参照)

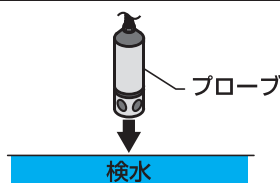


3. プローブを検水にゆっくり入れます。

4. 数値が安定したら読み取ります。

※数値は1/10の表示です。

10倍にして読み取ってください。



### 数値が安定しない場合

・ 指示値ふらつき緩和機能の設定値(0 ~ 20)を変更してください。(取扱説明書参照)

測定の応答が早い 0 ← → 20 測定の安定性が良い

◆測定後は必ずセンサーを洗浄してください。

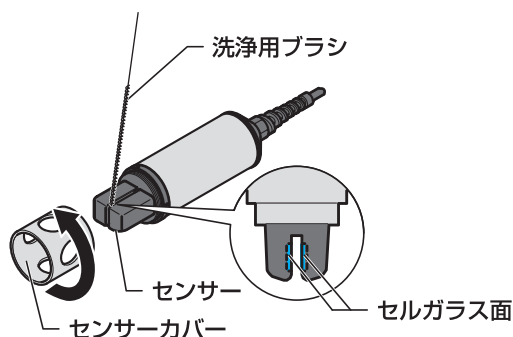


洗浄作業中は蛇口からの水を直接センサーに当てないでください。



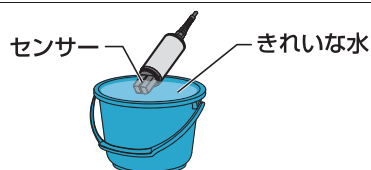
1. センサーカバーを外します。

2. センサーカバー、センサー、セルガラス面を洗浄用ブラシで洗浄します。



汚れが落ちない場合は中性洗剤を使用してください。

3. センサーをきれいな水でよくすすぎます。



4. 乾いたタオルの端などでセルガラス面を拭きます。



水滴が残らないようにしてください。



# モード選択 IM-50Pにはモード選択機能はありません。

## こんな時に必要

- ・複数の測定箇所に合わせて使い分ける場合
- ・排水(流入水)や汚泥成分が変化し、手分析値と合わない場合

## モードの選び方

検水のMLSS値がわかりますか


分かる場合

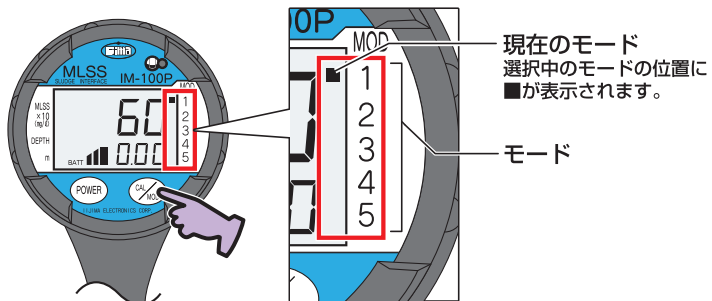
手分析値に近い値が出るモードを選択する。  
より正確に測定したい場合、  
2点校正(スパン校正)の実施  
をおすすめします。

分からない場合

業者に分析を依頼する。  
依頼できる業者がない場合  
は弊社までお問合せください。

自社で分析を実施する。

 を押すと、モードが切り替わります。



## 2点校正

### こんな時に必要

- ・ 検水の測定値が手分析値と合わない場合
- ・ 検水の色が変色し、手分析値と合わない場合
- ・ 排水(流入水)や汚泥成分が変色し、手分析値と合わない場合

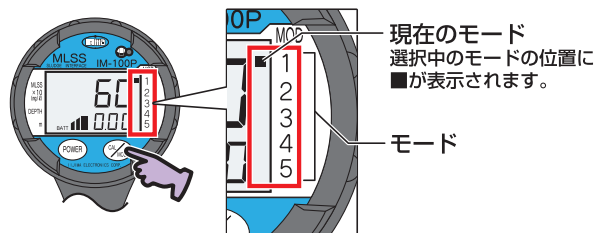
### ◆事前にゼロ校正を行ってください。(「1. ゼロ校正」参照)

#### 1. ラバープロテクターを取り外し、電池フタを開けます。



#### 2. 校正したいモードを選択します。

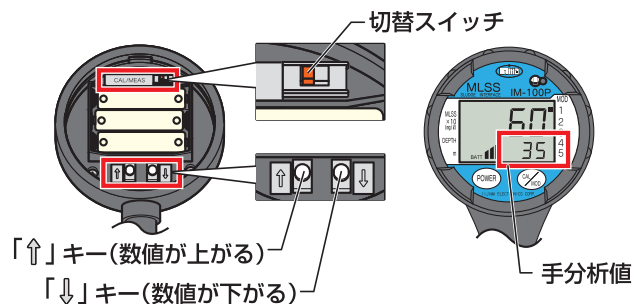
※電源が切れている場合は電源を入れてください。



#### 3. 切替スイッチを (CAL側：左) にします。

#### 4. 「↑」「↓」キーを押して、 表示部下段の数値を手分析値に合わせます。

※数値は1/100の表示です。  
1/100にした数値を入力してください。



#### 5. 付属の校正容器に検水を約半分入れてからブローブを入れます。

#### 6. 円を描くように容器を回し、数値が安定したら

 キーを1秒以上長押しします。

#### 7. 「Good」表示が出たら切替スイッチを (MEAS側：右) にします。

#### 8. 電池フタを閉め、ラバープロテクターを取り 付けます。(上記1の逆順)

